

教科	科目	単位数	種別	年次	
商業	簿記	4	選択科目	2年	
使用教科書	簿記(東京法令出版)			担当者	

学習目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目指す。																		
学習方法	教科書・問題集を中心に、簿記に関する基礎知識と技術を習得する。 家庭学習を重視し、多くの問題に取り組む。反復学習。																		
学習評価	<table border="1"> <tr> <th>育成を目指す資質・能力</th> <th>育成を目指す資質・能力の評価内容</th> </tr> <tr> <td>1 基礎的・基本的学力</td> <td>基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。</td> </tr> <tr> <td>2 課題解決能力</td> <td>社会的諸事象を多面的・多角的に考察し、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。</td> </tr> <tr> <td>3 情報活用能力</td> <td>多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。</td> </tr> <tr> <td>4 自己表現力</td> <td>目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。</td> </tr> <tr> <td>5 主体性</td> <td>課題解決に向け、主体的に追究することができる。</td> </tr> <tr> <td>6 協働性</td> <td>課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。</td> </tr> <tr> <td>7 自己理解</td> <td>諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。</td> </tr> <tr> <td>8 社会貢献(社会参画)</td> <td>地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。</td> </tr> </table> <p>以上の観点をもまえ、 単元テストの成績、授業内小テスト、学習プリントの整理や提出、学習活動への参加や資格取得への積極的な取組、授業態度や課題提出などについて、8つの観点に基づき総合的に評価します。</p>	育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容	1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。	2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察し、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。	3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。	4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。	5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。	6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。	7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。	8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。
	育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容																	
	1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。																	
	2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察し、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。																	
	3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。																	
	4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。																	
	5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。																	
	6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。																	
	7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。																	
	8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。																	
担当者から	教科書と併用される問題集にも丹念に予習・復習していきましょう。特に間違えたところは、原因を究明する態度を身につけることが大切です。計算道具として電卓を使用します。購入に関しては担当教諭の指示を聞いてからにしてください。																		

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価規準			評価方法			
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
4	簿記の原理	簿記の概要	簿記の目的・歴史・種類・記帳について理解する。基本的概念、財務諸表の役割・構造について理解する。	○									○	簿記の原理について理解するとともに、関連する技術を身につけている。	取引を記録することと決算の意義について理解し、企業活動の展開と関連づけて見いだすことができる。	簿記の原理について自ら学び、適正な取引の記録と記録の効果的な活用主体的かつ協働的に取り組むことができる。	単元テスト 小テスト 問題への取り組み 課題提出 などにより評価する。	
		簿記一巡の手続	取引から決算に至る一巡の基本手続きについて理解する。取引の概念、仕訳・記帳・作表等について理解する。	○		○		○										
		会計帳簿	主要簿と補助簿、企業の分課制度や内部統制システムと会計帳簿について理解する。	○			○											
6	取引の記帳	現金と預金	現金の入金・出金、過不足、小口現金、当座預金・当座借越の記帳法を理解する。				○	○						○	取引の記帳について理論と実務とを関連づけて理解するとともに、関連する技術を身につけている。	取引の記帳法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応している。	取引の記帳について自ら学び、適正な会計帳簿の作成に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	
		債権・債務と有価証券	債権・債務の意味、手形の種類や記帳法、株式・公社債・有価証券の取得と売却の記帳法等を理解している。					○	○									
		商品売買	商品の仕入れと売上、返品と値引きなど、商品売買に関する取引の記帳法を理解している。					○	○									
		販売費と一般管理費	販売費と一般管理費の概念と種類、取得と売却の記帳法を理解している。						○	○								
		固定資産	固定資産の概念と種類、取得と売却の記帳法を理解している。						○	○								
		個人企業の純資産と税	個人企業の純資産を増加・減少させる取引、税の概念及び記帳法を理解している。							○								
12	決算	決算整理	決算整理事項の適切な処理、記帳法を理解している。					○						○	決算について理論と実務とを関連づけて理解するとともに、関連する技術を身につけている。	決算の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応している。	決算について自ら学び、適正な決算処理と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	
		財務諸表作成の基礎	貸借対照表・損益計算書の作成方法及び精算表の作成方法を理解している。					○										
1	記帳の効率化	伝票の利用	各種伝票の起票・集計・転記の方法を理解している。					○	○									
		会計ソフトウェアの活用	会計ソフトウェアを活用することの利点及び効率的な取引の記録と財務諸表の作成についての基礎的な活用方法を理解している。	○											○	○	記帳の効率化について理論と実務を関連づけて理解するとともに、関連する技術を身につけている。	記帳の効率化の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応している。
2	本支店会計	本店・支店間取引と支店間取引	支店会計が独立している場合の本店と支店における取引及び支店間の取引を理解している。						○	○								
		財務諸表の合併	支店会計が独立している場合の本店と支店における決算手続きの流れ及び内部利益を含まない合併財務諸表の作成方法を理解している。						○	○								

教科	科目	単位数	種別	年次	
商業	情報処理	2	選択科目	2年	
使用教科書	情報処理 Prologue of Computer (実教出版)			担当者	

学習目標
商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目指す。

学習方法
教科書を中心に、情報をビジネスに活用する知識を身に付ける。
パソコン実習からアプリケーションソフトウェアや情報通信ネットワークを活用するための技術を身に付ける。

育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容
1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。
2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。
3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。
4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。
5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。
6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。
7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。
8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。

以上の観点をふまえ、「育成を目指す資質・能力」の8つの観点で学習の状況を総合的に評価します。
単元テストの成績、課題やレポート、小テスト等への取り組み状況、授業への参加態度などから総合的に評価します。

担当者から
提出物は必ず期限までに提出しましょう。
パソコン室へは、チャイムが鳴る前に移動し、パソコンを起動させ席に着いていること。遅刻の場合は必ず理由をつたえましょう。
パソコンの設定を勝手に変更してはいけません。またいかなる場合でもパソコン室での飲食は認めません。

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価規準			評価方法			
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
4	企業活動と情報処理	情報処理の重要性	企業においてコンピュータ活用することの重要性及びビジネスに関する情報を収集・処理・分析して表現することの重要性を理解する。	○		○	○						○	企業における情報デザインについて理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	企業における情報デザインの意義と課題について、企業活動と関連づけて見いだしている。	企業における情報デザインについて自ら学び、情報の適切な表現と活用主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	単元テスト 小テスト 実習・観察 レポート・課題 などにより評価する。	
		コミュニケーションと情報デザイン	情報をわかりやすく伝えるために必要な情報デザインの重要性、文字、図形、音声などの特性を理解し、図解表現の効果的な方法を理解する。															
		情報モラル	情報技術の進歩や情報が社会で果たす役割と社会に及ぼす影響、情報に対する個人と企業の責任の違いを理解し、法規及び情報の漏洩や著作権等侵害など具体的な例を提示し理解する。	○	○													○
6	コンピュータシステムと情報通信ネットワーク	コンピュータシステムの概要	コンピュータの基本的な機能と構成、コンピュータ内部におけるデータの表現及びコンピュータ内部でデータが処理される仕組みについて理解する。	○		○		○						コンピュータの基本的な機能と構成、情報セキュリティを確保することの重要性を理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	情報発信することの重要性、情報の信頼性を見極める方法について、セキュリティと関連づけて見いだしている。	情報社会の参画者として、自ら学び、情報取扱者としての適切な表現と活用主体的かつ協働的に取り組もうとしている。		
		情報通信ネットワークの仕組みと構成	基本的な情報通信ネットワークを構成するハードウェアとソフトウェア、LANの基本的な仕組み、クライアントサーバシステムなどのLANの構成、インターネットの基本的な仕組みについて理解する。	○														
		情報通信ネットワークの活用	ウェブページを活用してビジネスに関する情報を検索・収集する方法、電子メールを活用してビジネスに関する情報を受信・発信する方法を理解する。			○		○										○
		情報セキュリティの確保と法規	情報セキュリティを確保することの重要性、個人情報の漏洩、不正アクセスやウイルス等の感染による被害を具体的な事例と関連づけて理解する。	○	○													○
		情報の集計と分析	ビジネスと統計	統計的手法などを用いてビジネスに関する情報を分析することの重要性を理解する。			○	○										○
表・グラフの作成と情報の分析	情報の傾向、特徴などを読み取り、適切な表の形態とグラフの種類・形態を検討し、表現する方法を理解する。	○			○	○												
問題の発見と解決の方法	事象をモデル化し、シミュレーションを行う基本的な技法及びアルゴリズムを考案し、プログラムとして表現する方法を理解する。				○	○	○											
11	ビジネス文書の作成	文章の表現	伝えたい内容を簡素にわかりやすく表現するとともに、適切な敬語を用いる方法を理解する。	○			○	○						文章の表現、ビジネス文書の種類や作成に関する知識、技術を身に付けている。	文書作成における適切な情報発信の方法、組織の一員としての役割を見いだしている。	ビジネス文書作成における適切な情報発信に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。		

教科	科目	単位数	種別	年次	
商業	ビジネス基礎	4	選択科目	3年	
使用教科書	ビジネス基礎(実教出版)			担当者	

学習目標
商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目指す。

学習方法
教科書を中心に、ビジネスに関する基礎的な知識を理解させる。
ビジネス計算の基礎知識を理解させる。 計算道具は電卓を使用する。

育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容
1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。
2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。
3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。
4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。
5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。
6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。
7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。
8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。

以上の観点をもまえ、
単元テストの成績、授業内での小テスト、学習プリントの整理や提出、学習活動への参加、資格取得への積極的な取組などについて、8つの観点に基づき総合的に評価する。

担当者から
ビジネス計算では、電卓を使用します。購入に関しては担当教諭の指示を聞いてからにしてください。

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価規準			評価方法		
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
4	商業の学習とビジネス	商業を学ぶ重要性和学び方	社会や産業全体の課題と解決のために商業が果たしている役割、働くことの社会的意義や役割、職業人に求められる倫理観について理解する。	○									○	商業の学習及びビジネスの概要について理解している。 商業を学ぶこと及びビジネスの意義と課題について理解し、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展と関連づけて見いだすことができる。 主体的に学習に取り組む態度	単元テスト 小テスト 課題への取り組みなどにより評価する。		
		ビジネスの役割	企業の社会的責任を果たすことの重要性・社会的な課題への対応について理解する。	○	○								○				
		ビジネスの動向・課題	生産から消費までの過程に関わるビジネスの動向・課題について理解する。	○	○				○								
6	取引とビジネス計算	売買取引と代金決済	売買取引、代金決済の手段と仕組みを理解する。	○	○		○						売買取引と代金決済について実務に即して理解しているとともに、関連する技術を身につけている。	売買取引と代金決済に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考案することができる。	売買取引と代金決済について自ら学び、適切な契約の締結と履行に主体的かつ協働的に取り組むことができる。		
		ビジネス計算の方法	ビジネスに関する様々な計算を理解する。	○	○		○										
7	ビジネスに対する心構え	信頼関係の構築	ビジネスでの望ましい信頼関係の構築・職業人に求められる倫理観・責任感等を理解する。	○					○	○			ビジネスに対する心構えについて実務に即して理解しているとともに、関連する技術を身につけている。	ビジネスの場面を分析し、科学的な根拠に基づいて、ビジネスにおいて他者に対応することができ、情報を入力して、評価・改善することができる。	ビジネスに対する心構えについて自ら学び、ビジネスに主体的かつ協働的に取り組むことができる。		
		コミュニケーションの基礎	ビジネスでのコミュニケーションの意義を理解し、基礎的な活用方法を身につける。	○					○	○							
		情報の入手と活用	情報の信頼性を見極めることの重要性及び情報を活用する際の正しい方法を理解する。	○		○	○										
9	経済と流通	経済の基本概念	経済要素の概要、経済主体の役割、経済活動の循環、価格の決定と変動の仕組みについて理解する。	○									○	○	経済と流通について経済社会における事例と関連づけて理解することができる。	経済と流通に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考案することができる。	経済と流通について自ら学び、経済の基本概念を踏まえ、流通と流通を支える活動に主体的かつ協働的に取り組むことができる。
		流通の役割	生産と消費の隔たり、卸売業と小売業、業態の変化、流通の効率化について理解する。		○			○	○								
		流通を支える活動	物流活動、金融及び保険の働きや仕組みを理解する。		○			○	○								
10	企業活動	企業の形態と組織	企業の形態と経営組織の種類と特徴、起業家精神、企業倫理の重要性等を理解している。		○								○	○	企業活動について経済社会における事例と関連づけて理解することができる。	企業活動に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考案することができる。	企業活動について自ら学び、企業活動に関する事例などを踏まえ、企業活動に主体的かつ協働的に取り組むことができる。
		マーケティングの重要性和流れ	マーケティングの重要性和基本的な流れについて理解している。	○			○							○			
		資金調達	資金調達の方法とその特徴及び資金調達に伴う責任等を理解している。	○		○								○			
		財務諸表の役割	財務諸表の役割・監査の役割について理解する。		○		○							○			
		企業活動に対する税	企業活動に対する税の種類と概要及び申告と納付の概要について理解する。		○						○			○			
1		雇用	雇用形態の特徴と多様性を理解する		○				○	○							

教科	科目	単位数	種別	年次	
商業	ソフトウェア活用	4	選択科目	3年	
使用教科書	ソフトウェア活用(実教出版)			担当者	

学習目標
商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目指す。

学習方法
企業活動においてソフトウェアを活用するために必要な資質・能力を身に付ける。
パソコン実習からアプリケーションソフトウェアやグループウェアを活用するための技術を身に付ける。

育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容
1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。
2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。
3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。
4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。
5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。
6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。
7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。
8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。

以上の観点をふまえ、「育成を目指す資質・能力」の8つの観点で学習の状況を総合的に評価します。
単元テストの成績、課題やレポート、小テスト等への取り組み状況、授業への参加態度などから総合的に評価します。

担当者から
提出物は必ず期限までに提出しましょう。
パソコン室へは、チャイムが鳴る前に移動し、パソコンを起動させ席に着いていること。遅刻の場合は必ず理由をつたえましょう。
パソコンの設定を勝手に変更してはいけません。またいかなる場合でもパソコン室での飲食は認めません。

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価規準			評価方法		
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
4	企業活動とソフトウェアの活用	ソフトウェアの重要性	企業活動を正確かつ迅速に行う上でのソフトウェアを活用することの重要性を理解する。	○		○							○	企業活動におけるソフトウェアの活用とその環境について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	ソフトウェアを活用することの意義と課題について、企業活動の改善と関連付けて見いだしている。	企業活動におけるソフトウェアの活用とその環境について自ら学び、企業活動の改善に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	単元テスト 小テスト 実習・観察 レポート・課題 などにより評価する。
		情報通信ネットワークの導入と運用	LAN、情報通信ネットワークに用いられるネットワーク機器の機能、システム障害に対処する方法を理解する。	○		○		○									
		情報資産の保護	記録媒体の管理、情報を共有するためのフォルダのアクセス権、ソフトウェアの脆弱性への対応などのリスクについて理解する。	○			○		○								
6	表計算ソフトウェアの活用	オペレーションズ・リサーチ	在庫管理、回帰分析を用いた売上予測及び日程管理の重要性を理解する。	○			○		○				表計算ソフトウェアの活用について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	企業活動の改善に対する要求を分析し、科学的な根拠に基づいて、表計算ソフトウェアを活用して、情報を集計・分析するとともにその結果を表現し、評価・改善しようとしている。	表計算ソフトウェアの活用について自ら学び、情報の効果的な集計・分析と分析結果の適切な表現に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。		
		情報の集計と分析	標本を用いて母集団の傾向を推測する基本的な方法を理解する。		○	○		○									
		手続きの自動化	操作を自動化する方法及び一連の手続きについて理解する。		○	○		○									
9	データベースソフトウェアの活用	データベースの重要性	ビジネスに関する情報をデータベース化して管理することの重要性を理解する。	○	○	○							データベースソフトウェアの活用について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	企業活動の改善に対する要求を分析し、科学的な根拠に基づいて、データベースソフトウェアを活用して、情報を管理・提供し、評価・改善しようとしている。	データベースソフトウェアの活用について自ら学び、情報の効果的な管理と適切な提供に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。		
		データベースの設計	表の定義、正規化、表の関連づけなどデータベースを設計する方法を理解する。	○		○		○									
		データベースの作成と操作	利用者の立場に立ったユーザーインターフェイスについて理解する。			○		○		○							
		手続きの自動化	自動化する方法及び一連の手続きを起動するメニューの作成方法を理解する。		○	○		○									
11	業務処理用ソフトウェアの活用	仕入・販売管理ソフトウェアの活用	仕入・販売管理ソフトウェアを活用し、業務の効率化について理解する。	○	○	○							業務処理用ソフトウェアの活用について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	企業活動の改善に対する要求を分析し、科学的な根拠に基づいて、業務処理用ソフトウェアを活用して業務を効率的に処理し、評価改善しようとしている。	業務処理用ソフトウェアの活用について自ら学び、業務の効率的な処理に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。		
		給与計算ソフトウェアの活用	給与ソフトウェアを活用することによる業務の効率化について理解する。	○		○											
		グループウェアの活用	グループウェアを活用することによる業務の効率化について理解する。		○			○		○							
1	情報システムの開発	表計算ソフトウェアによる情報システムの開発	表計算ソフトウェアのプログラミング機能について理解する。	○		○		○				情報システムの開発について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	企業活動の改善に対する要求を分析し、科学的な根拠に基づいて、情報を処理する手順を見いだすとともに、情報システムを開発し、評価・改善しようとしている。	情報システムの開発について自ら学び、ビジネスに関する情報を処理する適切な情報システムの開発に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。			
		データベースソフトウェアによる情報システムの開発	データベースソフトウェアのプログラミング機能について理解する。	○		○		○									

